

平成十二年度報告

社会的、経済的地位確保

【業界状況】
企業にとって環境対策の取組みが、企業評価に重きをなす時代となり、ISO14001にも見られる様に企業存続の力を握るものとなりつつある。環境に優しい社会作りの一翼を担う再生資源業界も、回収現場での従来の売買形態は成立せず、あたかも廃棄物処理に当たる逆有償に沈滞してしまっている。自由経済下の再生資源は市況商品とされているが、逆有償であるのは行政の財政支援なしには成り立たない低価格に喘いでおり、需要先であるメーカーの一方的な価格設定が恒常化しており市場原理が全く機能していない。

【鉄スクラップ】

望書を提出している。これは古紙循環プロジェクトを継続して行ってきた一つの成果の現れである。

【古紙】
古紙はDIP（脱墨設備）が順調に稼働し、製紙メーカーは増収・増益にもかかわらず古紙価格の値下を断行した。数年前まで国内の古紙価格は国際価格と照らし合わせて価格が高すぎると公言していたが国内の価格が国際価格を下回っている現状で、しかもメーカー在庫率も下がっている中で値下、これはリサイクル社会を構築しようとする国民全体が歩んで行く道を阻害している。この折に日資連をはじめ、関東製紙原料直納商工組合、古紙問題市民行動ネットワークもそれぞれの立場から質問状・要

【社会的、経済的地位確保のための行動】
このように、再生資源物の価格が低迷している中で我々の扱う再生資源が適切に資源化されていく証として日資連は再生資源のマーケティング・テストを行い、再生資源の「リサイクル化証」を制作した。会員組合に頒布してから1年半を経て、今年度は増刷することとなった。これにより再生資源の「リサイクル化証」が明確となり、発生事業所はもとより行政当局との信頼関係が深まったものと思われる。また、完成させ組合員と関係団体（頒布した）により日資連の存在感も内外にアピールされたことにより、産業物の減量のために、今後各個別のリサイクル

平成十三年度計画

経済性の高いリサイクル実践

【リサイクルのための回収コストの社会的認知】
このような観点に立ちリサイクルシステム議員懇談会と対応して、関係省

【議員懇談会との連携】
国は廃棄物リサイクルの処理の優先順位①リデュース（排出抑制）②リユース（再利用）③リサイクル（再資源化）④熱利用（固形燃料・ゴミ発電等）⑤適正処理の方針は必ずしも現実的に展開はされていない。容器包装リサイクル法の見直し、家電リサイクル法の不法投棄問題など国際的な拡大製造事業者義務が明確に果たされていない。日資連と連携してリサイクルシステム議員懇談会との連携を強化し、動脈産業が協力できる円滑な業界運営を推進を基本方針とする。

【基本計画】
①省資源・省エネルギーに則った円滑な資源リサイクル循環に係る事業
②リサイクルシステム議員懇談会との連携事業の推進
③広域市町村自治体と市民団体と連携した「ごみ減量化リサイクル事業」の推進と情報の収集提供
④都道府県の環境行政と県連合会体制での対応と組織化の推進
⑤再生資源価格の適正化に係る事業と効果的市況対策の策定
⑥廃掃法及び各リサイクル法の研究
⑦各委員会の組織的運営
⑧後継者育成と魅力的な業界・ビジネスの推進（青年部）
⑨関係省庁との懇談係団体との協調

【古紙委員会事業報告】
平成十三年度古紙価格の値下が始まった。製紙メーカーの増産・増収回収率としては拡大製造事業者義務を無視した製紙業者の増産を疑わざるを得ない。

【金属委員会事業報告】
平成十三年度の粗鋼生産量は、高炉筋では、九千七百九十八万トンと想定しているが、下半期を懸念する声も出ており、回収業界は回収率としての主体性を保持し、回収するばかりでなく適切な回収コストが確保できるような組織的市況対策を行い、また、回収し出荷高・電炉を問わず、鉄鋼メーカーの緊急課題は、製品価値の低迷を打破する。（五頁に続く）

各委員会の事業計画 関連団体等連携し役割を実践

【リサイクル事業推進委員会事業計画】
新年度の委員活動は、民間回収業界の維持拡大策・リサイクルコスト負担の新たなシステムの構築・業界内の秩序作りなどを継続して検討すると共に、モニター調査を再開して全国の業界環境を的確に把握し状況に即応した運動を遂行する。

【古紙委員会事業報告】
平成十三年度古紙価格の値下が始まった。製紙メーカーの増産・増収回収率としては拡大製造事業者義務を無視した製紙業者の増産を疑わざるを得ない。

【金属委員会事業報告】
平成十三年度の粗鋼生産量は、高炉筋では、九千七百九十八万トンと想定しているが、下半期を懸念する声も出ており、回収業界は回収率としての主体性を保持し、回収するばかりでなく適切な回収コストが確保できるような組織的市況対策を行い、また、回収し出荷高・電炉を問わず、鉄鋼メーカーの緊急課題は、製品価値の低迷を打破する。（五頁に続く）

【古紙委員会事業報告】
平成十三年度古紙価格の値下が始まった。製紙メーカーの増産・増収回収率としては拡大製造事業者義務を無視した製紙業者の増産を疑わざるを得ない。

【金属委員会事業報告】
平成十三年度の粗鋼生産量は、高炉筋では、九千七百九十八万トンと想定しているが、下半期を懸念する声も出ており、回収業界は回収率としての主体性を保持し、回収するばかりでなく適切な回収コストが確保できるような組織的市況対策を行い、また、回収し出荷高・電炉を問わず、鉄鋼メーカーの緊急課題は、製品価値の低迷を打破する。（五頁に続く）

【古紙委員会事業報告】
平成十三年度古紙価格の値下が始まった。製紙メーカーの増産・増収回収率としては拡大製造事業者義務を無視した製紙業者の増産を疑わざるを得ない。

【金属委員会事業報告】
平成十三年度の粗鋼生産量は、高炉筋では、九千七百九十八万トンと想定しているが、下半期を懸念する声も出ており、回収業界は回収率としての主体性を保持し、回収するばかりでなく適切な回収コストが確保できるような組織的市況対策を行い、また、回収し出荷高・電炉を問わず、鉄鋼メーカーの緊急課題は、製品価値の低迷を打破する。（五頁に続く）

【古紙委員会事業報告】
平成十三年度古紙価格の値下が始まった。製紙メーカーの増産・増収回収率としては拡大製造事業者義務を無視した製紙業者の増産を疑わざるを得ない。

【金属委員会事業報告】
平成十三年度の粗鋼生産量は、高炉筋では、九千七百九十八万トンと想定しているが、下半期を懸念する声も出ており、回収業界は回収率としての主体性を保持し、回収するばかりでなく適切な回収コストが確保できるような組織的市況対策を行い、また、回収し出荷高・電炉を問わず、鉄鋼メーカーの緊急課題は、製品価値の低迷を打破する。（五頁に続く）

古紙値下げに対するアンケート

日資連会員の現状と意識調査

日資連古紙値下がり実態調査アンケートの集計結果

設問1	搬入先の問屋仕切り値は、今年になって値下がり状況							(単位=%)
	0円	0.5円	1円	1.5円	2円	2.5円	3円以上	無記入
新聞	0.0	2.3	42.1	7.8	27.3	23.0	10.2	8.0
雑誌	5.3	1.5	43.6	8.3	23.3	1.5	4.5	12.0
段ボール	0.8	2.3	42.4	9.8	23.5	2.3	9.8	9.1
設問2	古紙値下げ影響度							(単位=%)
おおいに影響する	71.7							
多少は影響する	20.1							
影響しない	8.2							
設問2の理由								(単位=%)
古紙専業	助成なし	転嫁不能	扱わない	助成あり	転嫁可能	他の仕事	その他	
おおいに影響	41.8	19.6	35.2	0.0	0.6	1.7	0.0	1.1
多少は影響	2.6	18.4	42.2	10.5	10.5	13.2	2.6	0.0
影響しない	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5	31.2	0.0	6.3
設問3	自治体委託事業の状況							(単位=%)
ほぼ委託	半分委託	少し委託	全くない					
日資連会員	7.6	23.5	37.1	31.8				
設問4	産廃・一廃取得状況及び取得希望状況							(単位=%)
取得状況	産廃収運	産廃積保	一廃収運	一廃積保	再生登録	中間処理等		
取得希望	42.6	8.3	26.9	1.9	17.1	3.2		
取得希望	14.0	25.8	16.1	12.9	24.7	6.5		
設問5	日資連に望む活動方針							(単位=%)
古紙値上げ	古紙使用増	抜取防止	委託事業	法的資源	資格取得	その他		
第一に望む	47.6	26.6	1.4	5.0	10.8	5.0		
第二に望む	23.3	33.4	6.7	10.8	16.7	8.3		
第三に望む	12.3	14.0	10.5	19.3	26.4	14.0		
設問6	あ〜す・れっく購読状況							(単位=%)
毎号読む	大体読む	あまりない	全くない	配布なし	無回答			
日資連会員	19.5	17.3	15.0	9.0	33.2	6.0		

広報委員会では、最近の「値下げ幅」を上回つて（六月頃）の古紙値下がりである。また、影響を与える実態と、それによる「古紙値下がり」を座視することができなことを緊急に調査した。全国三〇〇社を対象にFAXでアンケートを配布した。回答数は四〇〇の二三〇社を超えた。今回の回収率はこれまでの日資連アンケート回収率で多いほうで、会員の古紙値下がりの大きさが伺えた。全国での値下がり幅は製紙会社の公にされてい

このアンケートの設問は次の通り。
【設問1】貴社の搬入先の問屋仕切り値は、今年になって値下がりしましたか。
1 はい
2 いいえ
新聞、雑誌、段ボール

【設問2】の値下がり状況
貴社の営業活動にその値下がりなどの様に影響していますか。
1 おおいに影響する
2 多少は影響する
3 影響はない
その理由を下記の項目より二つまで選んでください
a 古紙の収集が主な仕事だから
b 自治体の集団回収に対する助成が無い（少な

いから
c 排出元の企業や商店、実施団体に値下がり分を転嫁できないから
d 古紙をほとんど扱っていないから
e 自治体の集団回収に対する助成が少から
f 排出元の企業や商店、実施団体に値下がり分を転嫁できないから
g 他に良い仕事があるから
h その他（ ）

【設問3】貴社では自治体の分別回収の委託をどの程度受けていますか。
1 仕事のほとんどが委託回収
2 仕事の約半分が委託回収
3 少しは委託回収をしている
4 まったく委託回収をしていない
【設問4】貴社では以下のどの資格を取得していますか

また取りたいと思つて資格には二重丸をおつけください。
1 産業廃棄物収集運搬
2 産業廃棄物積替保管
3 一般廃棄物収集運搬
4 一般廃棄物積替保管
5 廃棄物再生事業者登録
6 その他（ ）
【設問5】今後の日資連の活動方針として望ましいものを左端に三番まで優先順位をつけてください。

優先順位
（一）古紙の価格を引き上げるための活動
（二）古紙の使用量を増やすための活動
（三）分別収集からの抜き取り行為を無くすための活動
（四）委託事業を増やすための活動
（五）廃棄物法から再生資源を切り離すための活動
（六）会員の廃棄物取扱の資格取得のための活動
（七）その他（ ）
【設問6】最後の質問です。「あ〜す・れっく」（日資連広報紙）をお読みになつていますか。
1 毎号読んでいます
2 ほとんど読んでいます
3 ほとんど読んでいない
4 まったく読んでいない
5 ほとんど（まったく）送られてこない
*このアンケートは資源回収業界として「苦境打開」を目指し、「古紙値下げ」の意識を明確にし、一丸となって行動できるようにするためにつた。

【御礼】「ご協力をお願いした会員の皆様におかれましては、心から御礼申し上げます。古紙を取り巻く環境は三面にある通り、大手製紙会社の王子製紙、日本製紙の新聞古紙一円、雑紙古紙五〇銭の値下げと、我々資源回収業者が生活できる「原料価格」ではなくなつていきます。【遠吠えではなく社会的行動】
こうした中、社会的に認知される業界活動を行うべく推進しなければ、ただの遠吠えになつてしまふ。皆様から寄せられたアンケートを元に、どういった手段の業界活動をすべきか、国に対して、市町村行政に対しての対応策が見出されてきます。経済不況の中、儲からないことを社会に訴えて資源を切り離すための活動も公平さ、矛盾などPRすることも必要ではあります。【資源回収業界として、社会的に何ができて、資源循環型社会構築にどう役を果すか】
自らの業界が進むべきビジョンをもつて、業界組織を活用した断固たる行動を世の中に見せる必要があります。【三位一体の信頼と総合力】
今まで培った専門ノウハウだけでなく、市民の協力、行政との連携、関連団体との連携など、信頼（景気低迷ぶつ飛べせ、やる気が一番）と題して、ヒーマンポテンシャル研究所設立の渡辺勇氏が講義し、第二部では「リサイクル法に伴う商流の

【東北青年部】東北六県再生資源商工組合連合会・青年部連絡協議会では、去る六月九日に宮城県のホテルで第十一回宮城県大会を開催した。大会は小林秀明東青連会長が、去る七月二十九日に地元の栃木県足柄市の三ツミヤホテルにおいて平成十三年度通常総会を開催した。各議案とも満場一致で可決承認され、各県協青年部代表の青年部と共に盛会に終った。【十三年度活動計画】
各県協青年部の活性化、資源回収サイクリカルに関する研究及び情報収集・提供、後継者育成のための勉強会、東北六県青年部または西日本青年部との合同研修会及び交流会、日資連青年部活動の参加協力、親会（景気低迷ぶつ飛べせ、やる気が一番）と題して、ヒーマンポテンシャル研究所設立の渡辺勇氏が講義し、第二部では「リサイクル法に伴う商流の

【東北青年部】東北六県再生資源商工組合連合会・青年部連絡協議会では、去る六月九日に宮城県のホテルで第十一回宮城県大会を開催した。大会は小林秀明東青連会長が、去る七月二十九日に地元の栃木県足柄市の三ツミヤホテルにおいて平成十三年度通常総会を開催した。各議案とも満場一致で可決承認され、各県協青年部代表の青年部と共に盛会に終った。【十三年度活動計画】
各県協青年部の活性化、資源回収サイクリカルに関する研究及び情報収集・提供、後継者育成のための勉強会、東北六県青年部または西日本青年部との合同研修会及び交流会、日資連青年部活動の参加協力、親会（景気低迷ぶつ飛べせ、やる気が一番）と題して、ヒーマンポテンシャル研究所設立の渡辺勇氏が講義し、第二部では「リサイクル法に伴う商流の

【東北青年部】東北六県再生資源商工組合連合会・青年部連絡協議会では、去る六月九日に宮城県のホテルで第十一回宮城県大会を開催した。大会は小林秀明東青連会長が、去る七月二十九日に地元の栃木県足柄市の三ツミヤホテルにおいて平成十三年度通常総会を開催した。各議案とも満場一致で可決承認され、各県協青年部代表の青年部と共に盛会に終った。【十三年度活動計画】
各県協青年部の活性化、資源回収サイクリカルに関する研究及び情報収集・提供、後継者育成のための勉強会、東北六県青年部または西日本青年部との合同研修会及び交流会、日資連青年部活動の参加協力、親会（景気低迷ぶつ飛べせ、やる気が一番）と題して、ヒーマンポテンシャル研究所設立の渡辺勇氏が講義し、第二部では「リサイクル法に伴う商流の

古紙暴落に怒る！

神奈川資源(協)からの投稿

古紙の再々たる暴落のことで皆が努力の力いなく怒っている。誰が悪いのか。底が見えてくるのかも知れない。政策が。

有用な物は、わたしたちリサイクルマーケットにゆだねるべきだ。

メーカーも紙の最終処分

悪いのだ。アメリカの退潮が悪いのだ。いやメーカーである製紙会社には悪い考えがあるのではない。いや、自治体のゴミ感覚でかたそうとしている分別収集が悪い。であれば、廃棄物処理法の根本がそのものとして悪い。自然

自治体収集にコストが寄せられ、設備や土地も自治体持ちという具合なら、ステール缶のリサイクルに似てくる。アルミ缶というブレーキをはずした場合、缶リサイクルのメカニズムは激変するはずだ。古紙の三品にはアルミ

理の責任を共有し、ウンウエイ経済はストツプしよう。クローズドルブリサイクルに必ず向かうはず

故紙の産

入札と

になつてゐるのだからサイク
の押搾という言葉が死語
になる。昔の社会主義経済と同じく、構ひだけ計画キー
ムなのだ。経済行為の重
要な要素を棚上げした循
回業者の苦境も本当
に、燃やしも易い力サ
伍のクラスが何もないはか
ばりか、扱ひ量も多く人々
の生活に密着してゐるので
三ノト負担の論議は、応分
の負担でいく。それにしては産廃なら
排出者の責任が益々強化
されたのに、紙のような
者であり、今まで業とし
て集団回収や金属くずの
回収を行ひ生計を立てて
きました。しかし、行政
がゴミ減量という御旗の
元に、集めたゴミを私達
業界ルートに乗せ初めて
から故紙、繊維すべてが

にけつ、それに星を受けた量を生かすだけ、量を消化しなければならぬ。デイラーも過去の栄養を放出し、将来の備えを取り崩すしかない。

一般廃棄物は、処理センターの負担ばかりか、分別ストックのような協力さえ横着されてしまっている。

暴落の底値は、逆有償システムだろうが、仮にゼロ供給過剰はこれからも続

製紙メーカーも、古紙 10円以下で対応できる 「適正処理」ヤードは神 奈川県内にいくつも無い に逢い、何のため無理を はす。	製紙産業界に廃棄物を製 紙原料として業界に持ち こんでいる。本当に問 題なのは廃棄物として故 紙や鉄くずを私達が取り 扱うことではないのだらう か。余剰を生む行政故紙 の五%をサマリサイクル に回してもらうことはで きないのか。市場原理の 弱み。	経済コストで何か。基 準が良く分からないが、 要はメシが食える売り上 げ収入でないと自由主義 経済ではないよ。
---	---	---

問屋の相場がそのうち、段ボールで二円、新聞紙で二円、ゴタでマイナスイ限の許可を届出レベルで資源化を促すべき。ただし本来的の廃棄物は無用物として処理されようとしていることなど市民は知っている。しかし、メーカーが好て提え、規制があつていい。

市町村は県の担当者として意見を対立化させず、業集めた資源になるはずの故紙や繊維が、廃棄物として処理されようとしていることなど市民は知っている。

だ。環境社会主義を強化するほど、資本主義経済の自由が失われ、資源循環までが計画経済に陥落してしまう。製鉄会社はただの企業である以上、需要と供給のメカニズムから一歩も外に出られるはずこそ網をかけるべきじゃない。理念と矛盾してまで値段が問題になるのはおかしい。やっぱり、誰か、本当にコストを負担するべきところだが逃げてるのだからどう。回収業者やディーラーでないことは確かだ。国はその無責任な主体にこそ網をかけるべきじゃない。

がない。業者は心底、
古紙暴落や過剰供給は、
当然めぐり来るものだろ
うが、自治体のごみ処理
に怒っている。

いだろうか。

逆有償は一 廃化

異業者の驚異に脅え

るのだから、私達が「ミ」にして集めるリサイクルを地域、地域の市民と話し合い、「ミ」として集めるリサイクルの危険性を訴えて行かなければ、資源回収業の存在価値がないように思える。このままの低い「ミ」でなく、高「ミ」で、コールド廃棄物扱いとなり、価格は進めば、逆荷價故紙は「一般廃棄物」として行政の直接回収が進み、行政と廃棄物業界に私達の業が置き代わり、残ったとしても入札と異業者の驚異におびえ続け「ミ」でなく、高「ミ」で、コールド廃棄物扱いとなり、価格は進めば、逆荷價

家電商と覚書交

群資連の廃家電法

今年度から家電リサイクル法で、群馬県再生資源事業協同組合連合会と群馬県電気商業組合との間で、収集運搬業務に対する双方合意のもと覚書を取り交わす事となりました。	平野部、指定引取場所近郊（遠方…）があり、契約に至らなかったのです。そしてこの業務をする事にあたり、家庭から出るものに対して収集地区の一般廃棄物の許可が必要であり、指定引取場所地区の許可も必要となり、組合のなかでも出来る業
---	---

かつたことでもあります。二者とそうでない業者に分
れには組合として契約を
結ぶと独禁法に抵触する
事や、統一価格に於ける事
に対して浮上してくるさ
まざまな問題（山間部、
運送業者は無条件で収集

故紙の逆有償は一廃化

入札と異業者の驚異に脅え

広報委員会からの御礼

古紙アンケートを有効に活用

広報委員会・古紙アンケートに協力戴いた方々におかれましては、厚く御礼申し上げます。

アンケート結果から、古紙の値上げを日資連に望む声が大い事が伺えた。

また、行政より古紙の委託回収や助成を受けているにも拘らず、価格の下落が各企業に大きな影響を与えている。これは、委託であれ、助成であれ不況と相まって助成金のカットや委託費の縮小が同時進行しているためと思われる。

それに、法制度からくる行政主体の古紙回収が需給を壊し、メーカーまでごみ処理の路線に乗ってしまった結果とも思われる。

今回の結果を日資連各委員会に報告、有効に活用したいと思っております。

重ねて今回ご協力戴いた皆様方へは、紙面を借りて御礼申し上げますとともに、紙面充実、活発な業界活動のためにも、会員皆様方の寄稿、投稿を心よりお待ちしております。

（広報委員長）

＊今回、会報作成中、古紙や古布の動向がめまぐるしく状況が変化し、会員皆様に適格な情報提供作成のため発刊が遅延し、お詫び申し上げます。

わすへの対応

運搬業務が出来るのです。こうした法律の矛盾などがあり、なんとなく後味の悪いものでしたが、そんななか中央会からこの業務に対しては「協同あつせん事業」とすれば組合としても契約を結べるとい話を聞きました。その内容については、まず組合再生資源の低価格化のためです。

聞いてみれば私たち業者の仲間うちであれば普通のことなのですが、そこ

に気が付かなかったのは反省点であり、これからもあるであらうビジネスチャ

ースに対して良い勉強をしたと想っています。

合（事務局など）で一括
して受付をして、地域を
担当している組合員に
「受付けません」する。ま
た、あつせんを受けた組
合員は家電四品目を回収
す。

中で、これから増えていく
であろう家電対象品目が
私たちの仕事を増やし、
少しでも潤わせてくれる
事を期待しつつ終わります。

家電商と覚書交わす

群資連の廃家電法への対応

原回収商業協同組合 萩原 右一 浜市西区平沼1-40-17 ソペルデ横浜311号室 00・FAX 045(313)6161	東京都資源回収事業協同組合 理事長 紺野 武郎 〒101-0061 千代田区三崎町2-21-1 東京資源会館 TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679	株式会社 サンウエスバ 代表取締役 原 幸男 〒504-0811 岐阜市若福町7-5 TEL 058(231)2362・FAX 058(294)2994
回収事業協同組合 吉田 勝重 本和高田市池尻82-1 4・FAX 0745(53)3533	大阪府再生資源事業協同組合 理事長 入江 金男 〒567-0865 大阪府茨木市横江2-9-45 TEL 0726(30)6730・FAX 0726(30)6731	岡山再生資源事業協同組合 理事長 佐藤 章夫 〒700-0026 岡山市豊成3-14-20 TEL 086(902)0011・FAX 086(902)0140
クル協同組合連合会 阿久津 守光 沼市朝日町1952-2 9・FAX 0289(62)2246	千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会 会長 倉林 喜一郎 〒260-0015 千葉市中央区富士見2-22-6 富士ビル5階 TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033	埼玉県再生資源事業協同組合 理事長 細田 益弘 〒338-0826 浦和市大久保領家343-7 TEL 048(852)9048・FAX 048(852)9075

神奈川県資源回収商業協同組合

理事長 萩原 右一

〒220-0023 横浜市西区平沼1-40-17
モンテベルデ横浜311号室

TEL 045(313)6100 ・ FAX 045(313)6161

奈良県資源回収事業協同組合

理事長 吉田 勝重

〒635-0021 大和高田市池尻82-1

TEL 0745(52)5824 ・ FAX 0745(53)3533

栃木県リサイクル協同組合連合会

会長 阿久津 守光

〒322-0035 鹿沼市朝日町1952-2

TEL 0289(62)2239 ・ FAX 0289(62)2246